伯剌西爾時報
發行所 伯西剌爾時報社
聖市ファグンデス街一九六
電話七一四六七〇
社長 黒石清作
購讀料 一ヶ年 六十圓 半ヶ年 三十圓
珈琲 サントス四番 十キロ 二四、三〇〇 リオ七番 二〇、〇〇〇
爲替 對日 四、六〇〇 郵便送金 五、五七〇 對米 一九、七七〇 對英 八〇、〇〇〇

思惑の段階今や離脱 米國參戰の期愈よ切迫

ル大統領近く重大決定の覺悟

【シンガポール十二日同盟】バルカン戰線に於る敗退を契機として退勢を一段と露呈した英國は、米國の參戰を待つ事切なるものがあるが、九日の當地英字紙並びに華字紙は、米國の參戰切迫と報ずる次の如きロイター通信ワシントン特電を一齊掲載してゐる

米國の參戰決定は間近に迫つた模樣である、政府筋の觀測では、ルーズベルト大統領は、近々重大決定を行ふ覺悟を固めてゐる、斯る決定は今後數週間を出でずして行はれるであらう、

當地消息通は右に關し、米國の參戰は思惑の段階を一歩出て、今や確信の段階に入つたと見てゐる

新嘉坡道報の紙各

伊皇帝陛下 アルバニヤ訪問さる

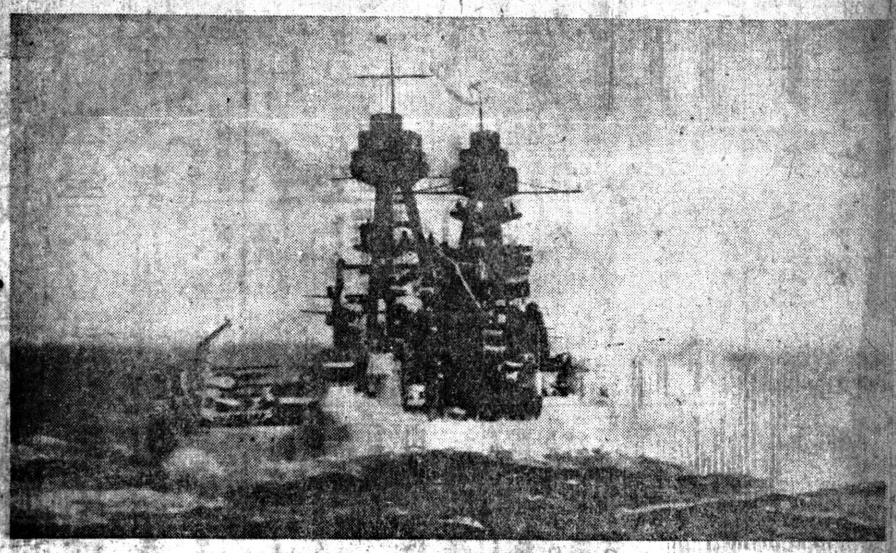
【ベルン十二日發】（R電）イタリー皇帝陛下は、チアノ外相を伴はれてアルバニヤを訪問されたが、先週末にはチラナ市を訪問された

獨經濟使節團 陛下に拜謁の光榮

【東京十二日發】（同盟電）獨逸經濟使節團一行は、オットー獨大使に伴はれて本日宮中の御座所に於て天皇陛下に拜謁した

綿布相場

【東京十二日同盟】綿布相場引け四九九五、五二〇、五三七、五五四、五六九、五七九五、五八九五



世界最强と豪語する米艦隊の猛訓練に出動した主力戰艦アリゾナ號

米國艦隊 印度洋に出動

日獨艦隊の襲撃に備ふ

【紐育十二日發】（R電）紐育ヴリーニュース紙の報道によれば、米國艦隊中の一部主力艦隊は目下印度洋上に出動中であつて同方面に於ける日獨聯合艦隊の襲撃に備へ警戒陣張し、米國を進發し英を援助する商船隊護衛の任に當つてゐる

駐土獨大使 伯林より歸る

【イスタンブール十二日發】（AP電）パーペン駐土獨大使は本日空路當市に到着、獨土通商條約其他に關する獨政府の提案を持參し來れる由

獨機の巨彈浴び ウエストミンスター寺院炎上

【倫敦十二日發】（R電）獨逸空軍は、また昨夜來襲、猛烈に倫敦を爆撃し、巨彈の雨を降らせたが、歴史的建物たるウエストミンスター寺院は大破された上、火災を起した、また英國各都市へも巨彈命中して破壊された

ウエンスト ミンスター寺院

英兵十二萬 目下新嘉坡に待機

尚植民兵續々增援中

【東京十二日發】（R電）シンガポールより聞來した一旅行者の談によれば、現在同港には十二万の英兵が、備中であるが、側オーストラリヤ兵及び印度兵が續々と增援中である

獨英兩軍 シリヤへ集中

【イスタンブール十二日發】（UP電）タス通信によればギリシヤ及びエーゲ海諸島を占領せる獨軍は目下續々シリヤに上陸中であり、それに對抗パレスタインにある英軍もシリヤ國境に集結中である

英國々會議事堂

翼賛會と各省の聯絡機關設置

【東京十二日同盟】挨拶翼賛會組織局長は、廿二日の定例

加藤新駐佛大使 ヴイシー政府訪問

【ヴイシー十二日發】（TO電）本日ヴイシーへ到着した新日本大使加藤外松氏は、直ちに佛政府を訪問、挨拶を述べた

時々話題

米參戰の火蓋は？

●數日前のナチス「念」大會に際しヒットラー總統は「英國援助の艦には總て魚雷を浴びせる」と强い宣言を行つた。而して大西洋上に於ては既に之を實行してゐる

英の國色日に濃化しつゝある折柄、戰火は自己の頭上にふりかゝつたと觀念の時を俟つか一段と强くなつた。そして獨逸米艦隊に對抗して獨艦隊の劣勢性は蓋ひ難い事實である。三國同盟の條約に基ぎ獨逸から日本へ應援の依頼がないとは斷言出來ない。尤も米艦隊の印度洋出現說の眞僞は明らかでないが、萬一事實とすれば、米獨開戰の火蓋はこの邊で切られるのではあるまいか

●近東情勢に對するソ聯の動向が世界の注視を浴びてる折柄、ヒットラー、スターリン兩巨頭が近く會見する模樣である。タス通信によれば、ソ聯はイラクのランドリー相の政府を承認した上、その提案を容認してソ聯はイラク政府を援助するまで保障することになつたと謂るが、總論イラク、イランは獨ソ兩國の間でよろしく片附けらるゝであらう

◇ ◇ ◇

石川島造船所 航空機部門を獨立

二十四日臨時株主總會開く

【東京十二日同盟】石川島造船所では、獨立より同社の航空機部門を獨立し、子會社を設立すべく準備中であつたが、愈よ來る廿四日午後本社に臨時株主總會を開き、增資新株第一回拂込徵收の件を附議所決する事になつた

一、石川島航空工業株式會社の設立

一、同社航空機部の土地、建物、機械、器具等一切の財産を航空工業に讓渡する件

獨はイラクを併合 イランはソ聯へ割讓？

ヒットラー スターリン會談內容の推測

【倫敦十二日發】（UP電）倫敦各紙の報道によれば、ヒットラー總統とスターリン書記長は、黑海上にある某汽船の甲板上に於て會見することになつて居り、席上近東問題について協議が行はれるものと見られるが、ヒットラー總統は、もし獨逸がイラクを併合する場合ソ聯へイランを讓渡するであらうと見られてゐるが、詳細要旨次の如し

一、ソ聯は獨逸が西南部地方及びイラクに於る獨逸の優越的權利を承認する

二、獨逸は女將の下に於る汎アラビヤ聯邦の結成に賛成すること

三、獨逸の必要とする戰時資材を供給する

四、ソ聯はトルコと英國の同盟破棄に努力すること

文に畫に夢の國紹介

內南洋へ作家等が赴く

舞踊家 閨秀陣も交る多彩な一團

【東京十二日同盟】共榮圈の一角——內南洋の風物を照徹する爲め作家、畫家、舞踊家の一行九名が軍當局情報局の斡旋で視察に赴く事になり十二日正午から芝水交社で打合せ會を開いた、南洋方面への作家視察は初めてで一行は作家の石川達三、寒川光太郎、舞踊家の花柳徳兵衛、畫家北村四郎の諸氏に國秀陣から輝く部隊の岡田八千代、岡田禎子、飯澤フク子、辻山春子、花房ヨシ子と云ふ多士濟々の顔振れ、來る十五日第一班、二十八日第二班と飛行機で出發、海洋少年團理事原海軍大佐引率の下に一ヶ月の豫定でサイパン、トラック諸島を巡り、文に、畫に、舞に、南洋風物をフンダンに取入れて來る事になつてゐる

光り滿つる

二人草三郎

（百四）

一揆

小川雄作 小川清

「……これさ、む、娘さんや……何處ぢやな何處ぢや……」

と坊主は闇の本堂を手探り爪先探り……

「嚇ゝ、ゝ、ゝ、

台灣は我南進の心臓部
新生皇民會實踐運動へ乗出す
長谷川總督　船中で語る

（門司十二日同盟）長谷川台灣總督は政務打合せの爲め十二日正午西廻高千穂丸で門司着同船で神戸に向つたが、同總督は紺中左の如く語つた

「海外の大政翼賛會に相當して台灣獨自の皇民奉公會は去る四月十八日發會式を擧げ六百万島民一團となつて實踐運動に乗り出し、又島民總成の動行と報國青年隊も豫期以上の精神を擧げてゐる。是を基本として臨戦の時期になれば志願兵制度の實施を考慮されてもよいと思ふ。下衆化の問題に就ては台灣は條件も充分整つてゐる、今や讓論の時代ではなく、その促進に關して具體的に中央と折衝する心算だ、南進に就ては台灣が當然受持つ可きで、台灣は南進の心臓と考へてゐる」

同船ではアモイ聯絡部長官より華中聯絡部長官に轉じた太田康治中將も歸朝した

大政翼賛會に即應

超短波
重慶の物價高
重慶の物資不足と物價高は、その極に達してゐるが、四月末、一石二百元した米が、一週間で五百二十元に上り、澱粉、豆類も高値なので一般市民は窮乏のドン底におち入つてゐる

加藤大使　ヴイシー着
加藤駐佛大使は、十日ヴイシーに到着、同夜新聞記者團に談話を發表した

山下中將に　鷲十字章
山下中將を主班とする獨伊軍司令部視察團は、十日伯林を出發ローマに向つたが、伯林出發に際しヒトラー總統は山下中將に鷲十字章を贈つた

國民貯蓄　百二十八億
昭和十五年度國民貯蓄は、百二十八億一千四百万円と發表された、前年までの貯蓄は百〇二億二百万円だから、一年間で二十六億一千三百万円の増加を示した事になる

本多大使神戸着
事務打合せの爲め歸國の途にあつた駐伯大使本多氏は、十一日午後五時神戸入港の龍田丸で神戸に上陸した

黄河北岸〝狂口〟完全に占領
【〇〇前線十一日同盟】皇軍は黄河北岸狂口を完全に占領した、斯て蘭封、サンモン、白鎖、センベイ、ホシンと狂口等の六ケ所の敵要衝は我が手に確保され、狂口目指して雪崩の如く敗走中の敵は今や退路を遮斷され、殲滅を待つのみとなつた

よくきく、のみよい
肝油ハリバ

亜興女人柱

愛児を兩腕に抱き　夫と共に散つた妻
大陸前線に光る日本女性（完）

子を思ふ父心、しかし、それはただ單にそれのみにとどまらず、實にすでにその時、もう加藤君は右胸部に二發の敵彈を撃り上半身を鮮血に染め出してゐるのでありました、その凛々しい姿を傍は夫人の前に見せたくなかつたのであります

夫と共に子を抱き戰死

「でも！」

「はやく、はやくッ」

立ち竦るむつ子夫人の頭上に加藤君の聲が響つ立てるやうに響きます、しかしむつ子さんにしてみれば死なば諸共親子四人が枕をならべて倒れに死んでゆきたいのであります

「な、何故逃げんのだッ！」

一喝したとたん！その加藤君の眞つ向眉間にまた一發さすがの傍もこの鐵手には、うろうと顔を蒼ひしばりながら耐へようとしますが、あゝすでに力およばず、つひに手にした

モーゼル銃を取り落としてくづれ折れるやうにその場に倒れてしまつたのであります

「あ、あなたッ！」

思はず駆寄つてむつ子さんがその夫君の肩を抱き起さうとしたとたん、口惜しや喊聲物凄く敵軍が突撃してきたのであります、のみならず手榴彈を揮つてはやくも入口からトーチカ内に跳りこんで來ようとする素早い奴までをります

それを見るや、むつ子夫人は間髪を容れず傍のモーゼル銃を拾ひとり

「良人の仇ッ！」とばかり矢庶に一二發打ッ放したのであります

だが支那兵ももう往昔のやうな支那兵ばかりではありません、むつ子夫人に射たれた最初の奴の死體を跳び越ながら餘の巣をつゝいたやうに手榴彈の雨を浴びせかけてきます、それに引きかへ夫人の方は敵の眞下に鮮然とむき直りやがて從容自若と起立した身柄を釣げたのであります

敵は強し！

わけて日本の母は強し

それにしてもなんたる凄絶！

戰許もなく敵軍を撃散らした皇軍將兵が現場に駆寄けてみますと、そこには加藤君の死體がただ一個ころがつてゐるのみで、むつ子夫人のそれはやゝ離れた附近の野原に他の屍とともに淋しく横たはり、然も兩人の子供の姿は見當らず、夫人の亡骸は僅にその着衣の縞柄によつてそれと知ることができるほど痛々しい彈痕に血ぬられてゐたと申してをります

——

ポブリンのカミーザを買求め洗濯後縮んだので抗議を申込みました。そうしたら商人は其れは縮んだのでは無く御客様が大きくなられたと答へました。是が絶對に縮まぬ
"SIDINAL"
電撃戰的大賣出し
理由です
飾り窓の説明に從つて御客様御一名毎にカミーザ一枚無代進呈致します。

熱狂的歡迎を受けつゝある
ビトリーナ第1號の驚異
カミーザ無代進呈
を御利用下さい

"SIDINAL"印カミーザ	26$000の分を		14$000
〃 〃 〃	28.000	〃	16.50
〃 〃 〃	30.000	〃	19.800

貴下のカミーザが無代になる
ビトリーナ第2號の御選擇品

"SIDINAL"印カミーザ	30$000の分を		25$000
〃 〃 〃	35.000	〃	27.000
〃 〃 〃	41.000	〃	30.000
〃 〃 〃	49.000	〃	33.000

此カミーザ一枚買求め、そうして
プレゼンテとして
提供する同じカミーザをお持歸り下さい。
"INDEPENDENCIA" - "RAINA" - "LORD"
級カミーザは破格の御値段で第3ビトリーナに陳列してあります。
此のカミーザを得られよ
ビトリーナの説明書に從つて全く無代で進呈です

"Cury"印帽子	45$000の分を		40$000
〃 〃 〃	50.000	〃	45.000
〃 〃 〃	68.000	〃	60.000
優秀グラバータ	15.000	〃	10.000
〃 〃	13.000	〃	8.500
〃 〃	9.000	〃	6.000
靴下	4.000	〃	3.000
〃	2.800	〃	2.000
〃 DERBY印	14.000	〃	8.000
レンソ6枚	15.000	〃	12.000
〃 〃	12.000	〃	9.000
ガジミーラー着分	2.80....110$000の分を		90.000
〃 〃	2.80....135.000	〃	110.000
〃 〃	2.80....80.000	〃	55.000

シントーツボン吊り一ロツボン一リーガ
總て驚異的御利益品です
S. A. FABRICA PAULISTA DE ROUPAS BRANCAS
R. 15 de Novembro, 184 - Avenida 8, João, 243

DR. ODORICO NILO MENIN
Rua FELIPPE DE OLIVEIRA, 21
7° and. salas, 3 e 4 Tel. 2-9449 S. Paulo
職人募集
指物に經驗ある方　一名
見習　二名
右至急雇ひ度し
加藤榮一
聖市グロリア街一一九
電話二一九二〇五
民事、商事、刑事、歸化手續等
親切に致します
事務時間
午前九時—十二時
午後三時—六時
辯護士
ドットル
オドリコ・ニロ・メニン

Dr. Fernando Mauro
Cons. Rua 8. Luiz, 738 MARILIA
◎短日輕費
難病、風土病一切、整骨、打身、挫き等
簡單的確に治す法が澤山あります
諸苦痛は直ちに止め腫物は速かに散す
醫藥鍼灸電氣紫外線
體驅甚年余「元リンス市物理物院主」物理醫學士　中村榮甫
自宅　マリリア市バイス・レーメ街郵區E
（朝日）

時報社
求人
市内配達人　一名
青少年
牢日勞働勉學ニ適ス
御希望の方は午前七時まで本社工場へ御來談下さい

純良精撰・接木・免疫性台木
葡萄ニヤガラ
參萬本
特價提供　五月十五日迄
本多果樹園
C. P. 34 - Mogy das Cruzes E. F. C. B.

美術石版印刷
鹽谷寶
聖市ダバンダーラ街一二六番
郵函二五七四
電話三—三九八〇

急告
パッサドール及見習　數名
好條件にて至急雇ひ度し
チンツリヤ
イピランガ　山田
電車二〇番ルア、ドイス
デ・ジュリヨ下車

中央線在住各位に謹告
今般シンガーミシン會社中央線日本人部總代理店を引受け營業仕候間宜敷く御後援の程を御願申上候
當中央線の集金並に販賣人は必ず當店の任命に限り候間御注意成下度候
五月一日
モヂ市　福田洋服店
Rua Coronel Moreira da Gloria, 224
Mogy das Cruzes - E. F. C. B.

ARMAZEM KAIKO LTDA.
SECÇÃO DE ADUBOS
Caixa Postal, 1602 São Paulo
肥料
骨粉　海興
マタドール
米糠　等各種
肥料大量揃へて居ります
此の際多少に拘す御用命の程願上げます

炊事婦一名
至急入用　高給支拂ム　委細面談の上
聖市ガルボンブエノ街三六二
電話七—七七一〇
日伯裁縫女學校

會社銀行の信用調査。商況通報。個人の身元及素行調査。婚姻に關する調査。雇人に關する調査。債權債務の取立。給料及整理。失踪者の捜索。其他諸般の調査及聯絡。
調査範圍—伯國内及び日本内地並に領土
調査は—秘密、迅速、正確
公認　サンパウロ興信所
サンパウロ市フエリツベ・デ・オリベイラ街二一番地四階
電話二—三四四四
郵函一九〇七

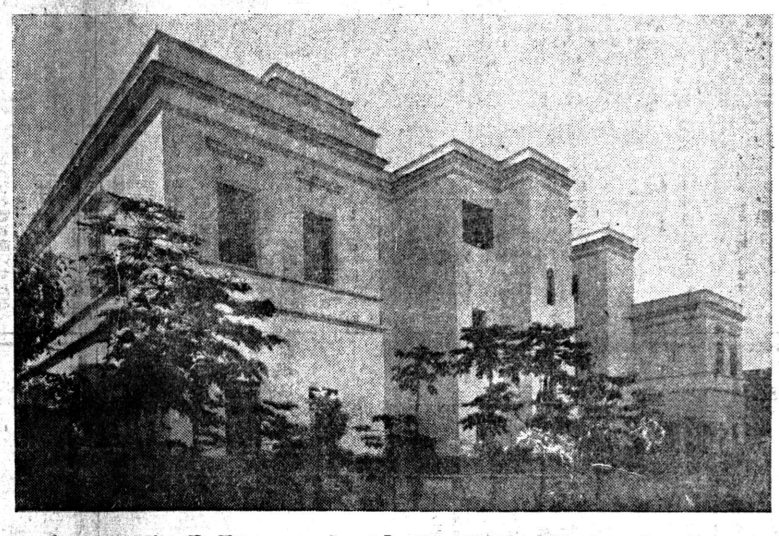
Tsuguo Kishimoto
TRADUTOR PUBLICO JURAMENTADO
Escritorio: Praça da Sé, 62 2.o and. sala, 2.
Tel. 2-1137 - C. P. 1124
São Paulo
法律事件一切
官廳諸手續
飜譯及び人名相談
岸本法律事務所
公認飜譯人　岸本次男
聖市プラサ・デ・セ六十二番
二階　二十四號室
郵函一一二四　電話二—一一三七

セントラール（中央）植民地
州立公認小學校
開校に就き謹告
當中央植民地は今から三ケ年前、即ち一九三九年入植以來　日向は淺きにも拘はらず植民者一同協力一致その充實に努力されまして　聖四〇年元地主オズワルド・サンパイオ（Snr. Oswardo São Paio）氏より本學校建設敷地として半城餘の寄贈を得　之を建設致しまして今四一年の天長の佳節をトし　ポンペイア市長警察署長、同夫人、副警長等内外人多數　名士の列席を得まして　茲に開校式を擧行致しました
當植民地の建設に際しまして　特に先入植者山口武氏の家事をも顧みず　獻身的に盡力されました事は植民者一同感激おくあたはず　永久にその功を記念する爲に感謝狀並びに記念品を贈呈した　次第で御座居ます
今回州立の認可を得ると同時　同校顧問オズワルド・サンパイオ（Snr. Oswardo São Paio）氏　同顧問藤岡登氏の絶大なる御盡力とこの多忙なるサラ期にも拘はらず　當植民地請氏が一層となり赤誠もつて御盡力下さいましたればこそ　僅々十日余りのうちに許可されたのでありまして　茲に我々代表者深甚なる感謝の意を表し　[illegible]一致團結　堅固なる植民地建設に邁進して行きたいと存じます
曾ほ當植民地日本人會役員を左の如く決定致しました

會長　佐々木誠之助
副會長　佐藤鶴吉
學務員　長野春治
會計　遠藤小四郎
幹事　奥村安雄
〃　水田重義
〃　佐々木敬次郎
〃　石橋甚吾
衛生　山口常義　以上
パウリスタ延長線ポンペイア驛
セントラール（中央）日本人會

農産物賣買　農産物配給
受託販賣
農産物の委託販賣は
伯國唯一の農産物配給會社たる當商事會社を御利用あれ
生産者より求め直ちに消費者に配給する當社獨特の營業組織は生産出荷者への利潤を増大し、迅速確實なる精算は關係者諸賢より絶對的好評を博して居ります
論より證據　先づ委託して見るなら明白に御判りになられるでせう
御照會歡迎　全ての農産物の御相談には懇切を以て致します　尚數量の多少を不問御取扱ひ致します
特別農産物　に對する前貸の御相談にも應じます
PRODUTOS AGRICOLAS LTDA
Rua Anhangabaú, 1095 - End. Telegr. PROAGRO - Tel. 4-7350
SÃO PAULO
サンパウロ農産物商事會社
伯国唯一の農産物配給會社

ESCOLA DE CORTE E COSTURA AKAMA
Rua Tamandaré, 849 - Caixa Postal, 4430 - Tel. 7-7845 - São Paulo
移轉擴張
新校舍　收容人員　四百名　綜合教育の完成を期す
校庭運動場にテニスコート並にバスケットボール設備中
補缺生徒募集　洋裁專修部、女學部（母國女學校三年程度迄教授）
家庭科
葡語小學部
葡語夜學部
葡語中等部
右若干名募集致します
規則書　申込次第御送附致します
公認
サンパウロ女學院
赤間みちへ
聖市タマンダレー街八四九
電話七・七八四五
郵函四四三〇
↑校舍側面



駐亞重廣武官來伯

海相以下海軍首腦部と會談

目下リオに滯在中の亞國駐剳重廣武官は、去る八日帝國大使館員一名を隨伴し、伯國海軍省を訪問したが、海相事務室に於てエンリケ・ギレン海相と數刻會談した後、引續き海軍部次長プリント、クーニャ兩提督、ライムンド・デ・メーロ・ブラガ・デ・メンドサ總理府長官と懇談を交へた（寫眞は重廣武官）

こんどは重工業品を

輸出組合の誕生

商工省輸出振興に拍車

矢次ぎ早やに

機械輸出組合設立に關する懇談が進められてゐたが、商工省に於ては三月十日附を以てクレーン、ボイラー、鑄山用機械等の重工業機械の輸出業者に對し、重工業機械部に同部分品の輸出振興を計るための共同團體として、左の諸要綱に依り、組合の設立を認可發表した

一、輸業計畫イ、製品及包裝の檢査、輸出數量又は輸出價格其他の統制

ロ、輸出品用原材料の配給斡旋

ハ、海外市場の調査及び見本市參加等新販路の開拓

ニ、産業に關する指導及研究

ホ、輸出斡旋、委託輸出及買取輸出

調査

右組合員たるの資格は重工業機械部に同部分品の輸出を業とするものにして商工省の承認ありたるものでなければならぬ

難御人佛でオリ

上陸したとたんに"ドロン"

戰火をのがれて來た"虎の子"四百四拾コントス

歐洲の戰火を逃れ、安住の地を求ゆて、去る七日、リオ入港の佛船"セルバ・ピント號"で來伯した佛人技師サロモン・グレゴレ氏は、リオ上陸の際リオに住んでゐる妻子の出迎へに挨拶を交してゐる間に所持してゐた現金一千五百コントスの中四百四十コントスを何者かに盜まれ、後刻それに氣付くや直ちにリオ警察へこの由を訴へ出た、警察側では直ちに非常線を張つて犯人捜査につとめてゐたが、一昨々日�にマルセロ・ビダル（同皮革商）を犯人として逮捕するに至つた

竊盜の嫌疑は、盜まれた現金がリオブランコ大通りのバンコ・スール・アメリカにコーフレ・フォルテ（銀行内で特に個人へ貸與する金庫）に預金してゐたところから足がついたものである

尚同船では、航海中二百コントス余に相當する貴金屬が紛失したが、未だ犯人は不明である

伯國最初の

防空壕

一獨人技師の設計になるもの

男女また土つく

鐵傘搖ぐ青葉、肥州の一番

碧空に響く櫓太鼓の音も爽かに國技館の大相撲見場所は人氣を呼んで十一日午前四時から本取組を開始した、三日目もまた數百名の徹夜部隊が國技館を取卷き、午前中に滿員札止めとなつた

けふは日曜日なのと前日東の總師男女の川に土がつき人氣は國技館に集り四階の大廣場は相撲臭といはれる人氣者の國民學校兒童が陣取つて可愛らしい聲で聲援してゐる、孫に本場所は比較的女生徒が多い

◆

男女けふもまた敗れた、青葉左をのぞかせるを男女、鉞り出しながら左を差さんとすれば、青葉その手を引張つて男女をかせた左四つ、青葉下手投げにおびやかしておいて鮮しく黒柱に寄倒す

◆

五ッけふは二瀬川に寄り切られ東の大關、横綱陣崩れ、大邱と浦奥の一戰水が入り取直したが、二番目も勝負つかずで引分となる、立合ひ三十分以上に亘る大相撲

東 44 …… 36 西
14 點得日目日(三)12

中入後勝負

八方山（寄切り）小島川
勝ノ里（渡込み）鯱ノ里
松ノ里（寄倒し）鱒ケ嶺
豐島（突出し）佐渡島
大邱山（引分け）清奥川
備州山（踏越し）倭岩
若潮（下手投）兩國
桂川（寄倒し）陸奥里
綾君（渡込み）小戸岩
四海波（打棄り）双見山
相模川（叩込み）勝ノ川
大鵬（突出し）龍王山
鹿島洋（寄切り）旭川
松浦潟（寄倒し）九州山
増位山（押出し）佐賀花
綾昇（内掛け）鷲石
玉ノ海（寄切り）出羽濱

夏場所四日目

初日の忠臣顯彰會獻金大樂デー、二日目三日目、土曜日曜は兎も角として四日目は月曜も引續き午前中から人氣は國技館に集り四階の大廣場は相撲といはれる

上手投決つた、と見へたが物言ひがつき結局取り直しとなつたが今度は寄倒し決つて青葉の勝となる、これで肥州二勝二敗の星

◆

けふは西軍大いにふるひ二點の勝越となり、その差を六點に縮めた、東西の星甲ひも面白くなつて來たが、從來の習慣が個人的聲援をする者はあつても「東ッ」「西ッ」と聲援をする者が殘れないのは無理もない事か

笠置山（寄倒し）富士嶽
熊國（寄切り）櫻錦
肥州山（出し）小松山
名寄岩（小手投）大和錦
羽黑山（寄倒し）神東山
安藝海（押出し）九ケ錦
二瀬川（寄切り）五ッ島
前田山（押倒し）櫛甲
双葉山（寄倒し）十三錦
青葉山（同）男女川

打出し七時五十分

幕内 東十四、西十二
幕内累計 東四十四、西三十六、東八點リード

中入後勝負

倭岩（寄倒し）若潮
陸奥里（寄切り）小島川
豐島（同）藤ノ川
鱒ケ嶺（外掛け）四海波
鯱の里（預り）八方山
小戸岩（突出し）大邱
兩國（小手投）櫛
綾岩（寄倒し）櫛甲
勝ノ里（同）綾君
備州山（途出し）富士山
相模川（上手投）小松山
九州山（寄倒し）桂川
櫻錦（突放し）松浦潟
旭川（肩すかし）綾昇
佐賀花（突出し）出羽濱
二瀬川（突放し）笠置山
名寄岩（寄倒し）神東山
玉ノ海（下手投）十三錦
熊國（寄倒し）鹿島洋
青葉山（同）肥州山
前田山（寄切り）九ケ錦
羽黑山（突出し）増位山
安藝海（寄倒し）富士嶽
五ッ島（寄倒し）櫛甲
男女川（押切り）磐石
双葉山（下手投）大和錦

打出し七時二十七分

得點 東十二、西十四
累計 東五十六、西五十

眞摯敢闘の跡

熊國（烈しく突合つた後）
鹿島洋（鹿島ダイノ〳〵突いて行司溜りに攻め立てたが照突返し、右四つとなり巨躯をあはり東土俵に寄り返す、鹿島けんめいに土俵ぎはで殘すを、熊國を巻して右差し手を抜き寄倒す
前田山（九ケ右でビシヤビ
九ケ錦（シャ前出を張れば前田ダ烈しく突き返してから左四ッとなり、土俵上一呼吸間を見て前田寄れば、直ちに寄倒す）

中央植民地の喜び

州立小學校を認可さる！

ペ延長線ポンペイア驛セントラル（中央）植民地では、植民地開設以來日淺く僅三年を出でざるにこの度州立小學校開校を當局より認可され、去る天長の佳節を卜し各戸内外人有志の列席を得て盛大に開校式を擧行した一當日はポンペイア市長、警察署長夫妻、同副署長、元地主オズワルド・サンパイオ同校副門、藤岡登同副門、瑞穂、新興各植民地代表等の來賓あり、午前九時より兒童、婦人、青年團の奉祝をかねた記念大運動會を催し、日伯人融合の和やかな雰圍氣のうちに親善の實を擧げて正午より開校式に移つた、市長の祝辭、藤岡副門の答辭、邪馬の祝辭、瑞穂、新興各代表の祝辭、小林日會長の植民地沿革史に挨拶あり、同會長より植民地經營に所持した山口武氏に感謝狀並に記念品を贈呈して式を終り、一同記念撮影の後、内外人車を連ねて盛大な宴に移り散會した、因みに同地日會役員諸氏は左の通りである

會長佐々木誠之助、副會長佐藤鶴吉、學務委員長野春治、會計遠藤小四郎、幹事

寫眞は當日大統領、州執政官の寫眞を掲げて記念撮影

來る十七日

龍二土會

常盤旅館にて

學生龍二土會の例會は來る十七日（土曜）午後八時より、聖市トキワ旅館に於て開かれる

人を斬りたい……"

劍呑な半黑の病氣

一邦人飛んだ御難

ソロ線サンタ・クルス・ドリオ・パルド市外、新耳耕地に就働する家族持半黑男は、何う氣が狂つたものか「人を斬りたい……」と口癖の樣に呟いてゐたが、去る土曜日附近の島袋氏が買物に越いたところを出逢ひ、ポチキン劍にて突然フォイセを揮つて斬り付け、島袋氏は前額部に傷を負ひ、鮮血に染まつて其場に打ち倒れた、犯人は血潮の滴る兇器を持つたまゝサンタクララの川傳ひに潜伏となつて逃走を企てたが、今村民出動駆き捕へ警察の手に渡した

奥村安雄、水田車義、佐々木敬次郎、石橋喜吾、衛生山口常義

捕虜を釋放された

獨の一船員來伯

過般英巡洋艦キャスル號に拿捕された獨商船イタベー號の乘組員廿二名中の一人、獨人スチール君が昨日リオ入港の英貨物船で着伯した、彼は他の同僚と同じく英の捕虜として收容されて來たものであるが、キャスル號に最初移されるや身體の檢査をされ、同艦に八日間閉込められた後、他の英艦クイン・オヴ・バームダス號に移され、更に八日間の後、再び前のキャスル號に移管されたが、大西洋を航してケープタウンのテーブル山の捕虜收容所へ送られ、こゝで六ケ月を暮したが、六ケ月後に漸く釋放され自由の身となつたので、彼の希望通り獨逸へ歸ることが出來たものである

六大リーグ

最高潮……

（東京十二日同盟）東京六大學リーグ明法一回戰は二點一で明治勝ち、帝立一回戰は十點二で立教の勝、明法二回戰は一A點零で法政雪辱し、帝立二回戰は八點六で立教が再勝した

君は勿論一般父兄の來觀を特に歡迎すると

蔬菜市場

五月十二日（コチア産組調）

トマテエスペシアル	100 100
プリメーロ	80 80
セグンド	60
レポーリオ	120
ピメントン	120
パージ	120
エルビーリア	120
ポプリンヱ	120
ペピーノ	120
人參	1$000
人參箱入り	10
パタタ	10
ナス	10
玉子	1$200

組合強化へ驀進！

プ産組前進目覺し

ソロ線ブ・ブルヂンタ産組では、去る四日臨時總會を開催し、さきに役員會に於て議決定を見た增資案が提線されたが、組合今後の發展のため滿場一致これに賛成可決した、增資は組合員各々七樣の增加で、增資の曉には更に精米機を購入産組合強化へ前進することゝなつた

はどんと

通常水準を十五米超過

河岸の住民早くも避難

ウルグワヤ河氾濫！

亞國エントレ・リオス郡からの來電に依れば、通常水準を十五米余も超過し、同地方一帯は水浸しとなり、住民は大騒亂のうちに避難しつゝあるが、損害は莫大に上る見込である

獨逸

海興慘敗

東カ・ナカオ棉共に樂勝

……去る日曜のリーグ……

去る日曜日、聖市實樂リーグ東組對西谷戰は、東組先攻で開始、五回まで兩軍接戰を續けたが、西谷軍後半振はず八點三で敗る、バッテリーは東組—山下、前山　西谷—三角岡村

| | | |

Redacção — Rua Fagundes, 196
Telephone 7-4670
Caixa Postal, H

Director Masahiro Samesima

NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno ..... 60$000
Semestre ... 30$000
Numero do dia .... 300 reis

Gerente S. Kuroishi
Redator-chefe M. Yendo

ANNO XXIV — S. PAULO — TERÇA FEIRA 13 de MAIO de 1941 — DIARIO No 2474

Trabalhos de crianças Brasileiras expostos no Japão

Successo do tentame

RIO, 9 — (Via Vasp) — A Associação Central Nippo-Brasileira do Rio de Janeiro recebeu comunicação de que a agremiação dei dentico name, com séde em Kobe, Japão, propoz o intercambio de trabalhos infantins entre os dois pajezs, com o fito de fortalecer o melhor conhecimento reciproco. O Ministro da Educaçoã do Brasip aprovou a sugestão e urdenou a coleção de especimes em todos os Estados e no Districo Federal. Com destino ao Imperio Oriental foi, então, efetuada uma remessa de 311 de desenhos e 109 obras manuaes.

Após a catalogação das obras, a Associação Nippo-Brasileira de Kobe convidou o embaixador do Brasil, sr. F. de Castello Branco Clark, o Ministerio da Instrução Publica, a Asssociação Central Nippo-Brasileira, de Tokio, e a Sociedade de Relações Culturaes internacionaes, entidade oficial, cuja presidencia efetiva é exercida pelo principe Konoye, primeiro ministro nipponico.

No dia 9 de abrial, realizou-se a inauguração solenne da exposição que foi instalada em varias dependencias do major «magazine» de Tokio, a casa «Mitrukochi», Grande esmero presidiu á apresentação dos trabalhos infantis brasileiros, havendo sido colocado no vestibulo vasto mappa do Brasil, contendo, ás margens, grandes fotografias das principaes cidades nossas e dados estatisticas de toda a ordem.

A' sessão inaugural coôncorreu um um numeroso publico. A' chegado do embaixador do Brasil foi executado o Hymno Nacional brasileiro, terminado o qual, abriu a cerimonia um discurso do barão Dan, em nome da Sociedade de Relações Culturaes Internacionaes, fazendo ver o alcance do acto que se efetuava. Em seguida, o sr. Kazue Kuwagima, ex-embaixador no Rio de Janeiro, explicou os objetivos da Ipermuta de trabalhos infantis e o andamento que lograra, até então.

Em nome de governo brasileiro, o embajaoxdr Clar kprtocedeu á publica entrega da coleção á Associação Nippop-Brasileira, de Kobe, enaltecendo a merito de esmelhantes ações praticas de aproximação entre duas nações amigas e esclarecendo, em linhas geraes o criterio com que fôra organizado esse documentario da capacidade intelectual e da atividade orientada da criança brasileira.

O marquez Yorisada Tokugawa, grande oficial da Ordem do Cruzeiro do Sul, senador do Imperio e presidente da Associação Central Nippo-Brasileira, de Tokio, saudou o representante diplomatico do Brasil, em cuja pessôa homenageava o nosso paiz, que elogiou calorosamente.

O sr. Ikuro Atsumi, que é presidente de uma das mais importantes empresas japonezes de negocios com o Brasil, encerrou a sessão com pharases emcomiasticas para o Brasil e os brasileiros.

Entre as individualidades do mundo oficial presentes, destacavam-se o representante de s. alteza imparial o principe Takamatsu, irmão do imperados e patrono da Associação Central Nippo-Brasileira e altos funcionarios dos Ministerios da Instrução Publica e dos Negocios Estrangeiros.

No dia seguinte, 10 de abril, o principe e a princeza Takamatsu visitaram o certame.

A exposição, após alguns dias na capital, foi transferida para as cidades de Kobe, Kyoto, Osaka, Nagoya, Yokohama, Saporo e Nukuota, as mais notaveis do Japão.

MONUMENTO A CAXIAS

Foi exelentemente recebida, tanto por empregados, como por empregadores e funccionarios publicos, a idéa, muito feliz e patriotica, da contribuição voluntaria de meio por cento de vencimentos, em beneficio de monumento ao glorioso duque de Caxias.

As informações a respeito podem ser pedidas, na séde da 2.a Região Militar, arua Conselheiro Chryspiniano, á commissão promotora dessa bella iniciativa civica, a qual trabalha o alto patrocinio do sr. general Mauricio Cardoso.

Cooperativas de consumo

Recebemos o seguinte comunicado:

«A diffusão, cada vez maior, que vem tendo em nosso Estado as cooperativas de consumo, demonstra que estão sendo bem compreendidas as vantagens que o systema cooperativo apresenta nesse sector. Arregimentando as classes trabalhadoras, no sentido de proteger os seus interesses economicos, livrando-as da ganancia dos intermediarios, as cooperativas de consumo prestam, com effeito, inestimaeis beneficios á economia popular.

Sem visar lucros, a cooperativa apenas se interessa por bem servir os seus associados, fornecendo-lhe artigos de melhor qualidade e por preços mais vantajosos, distribuindo, ainda, no fim do exercicio social, as sobras que resultaram das operações realizadas durante o anno.

Entretanto, além do aspecto puramente economico, é notavel o papel que a cooperativa desempenha, pois, mostrando aos seus cooperados o meio de gastar menos na acquisição dos artigos de consumo que lhes são indispensaveis, crêa a entidade o espirito de economia entre as classes trabalhadoras, o que representa, sem duvida, beneficio de alto alcance social.

Modestos, mas expressivos, são os resultados do balanço da Associação Cooperativa Operaria Saltense, referente ao exercicio de 1940. Os resultados geraes do exercicio attingiram 7:952$075, sendo assim distribuidos: fundos diversos, 795$200; fundo de reserva, 1715$700; juros ao capital, . . . 2:789$200; retorno de 2 % 2:053$700; resultado da venda a estranho e que reverte ao fundo de reserva, 1:598$275.

As contas do activo da sociedade, conforme o balanço geral encerrando em 31 de dezembro ultimo, somma a importancia de 116:614$100 e estão assim discriminados: associados conta de capital 1:110$000; immoveis, . . . 16:338$100; moveis e utensilios. . . 0:770$600; livros, impressos e objectos de escriptorio, 572$800; caixa, 834$700 mercadorias, 27:787$700; cooperados conta de consumo, 16:856$800; contas correntes devedores, 16:313$400; caução, 30$000.

As contas do passivo são as seguintes: capital, 39:300$000; fundo de reserva, 18:040$725; fundo de depreciação, 397$600; fundo de amortizações 397$600; fornecedores, 36:323$900; contas correntes creadores, 15:140$000; contas a liquidar, 71:200$000; sobras $liquidas, 6:943$075.

Na medida de suas forças, realizam os dirigentes dessa cooperativa esforços dignos de encomios, pois não só concorrem para a melhora das condições de vida de operarios filiados a essa cooperativa, como contribuem para demonstrar o valor da pratica cooperativista e, consequentemente, para a sua propagação em beneficio da economia das classes trabalhadoras», (Communicado do Departamento de Assistencia ao Cooperativismo da Secretaria da Agricultura do Estado de S. Paulo).

A Immigração no Brasil

Declarações do director do serviço de Registo de Estrangeiros

RIO, 9 (via Vasp) — As autoridades brasileiras encontram-se atualmente desenvolvendo especiol atenção para com o grande numero de estrangeiros que, no paiz, ainda se encontram sem o indispensavel registo e autorização para permaneceram legalmente no Brasil.

Em 1939, em consequencia da intensificação de correntes imigratorias, o governo creou o Serviço de Registo de Estrangeiros, organismo que vem funcionando á rua do Itapiru', sob a chefio no dr. Ocia Martinelli e constituido por numerosos funcionarios especializados, como sejam: tradutores e interpretes de varias nacionlidades.

O registo dos estrangeiros no Brasil, quer dos que se encontram aqui em carater definitivo, como os que pretendem apenas se demorar por alguns meses, tornou-se uma necessidade imediata do governo, em virtude de presença entre os bons estrangeiros, de elementos irrecomendaveis que burlando a vigilancia das policias, conseguiam-se infiltar nas diversas camadas sociaes, espalhando mmaleficios de toda especie. Dentro do espirito de absoluta protecção a politica imigratoria, pois o Brasil não combate o bom imigrante, antes até o amparando desde que deseio cooperar no desenvolvimento do paiz, o governo ampliou recentemente as atribuições dos orgams controladores dos alienigenas, crando ainda um delegacia especializada que scerá dirigida pelo dr. Ives de Araujo.

No momento, vem gradativamente se desenvolvendo o numero de estrangeiros que procuram as repartições competentes afim de efetuarem o registo. Sobre esse palpitante assunto, ouvimos o dr. Ociola Martinelli, que nos declarou o seguinte.

«O Serviço de Registo de Estrangeiros encontra-se dotado de todo o aparelhamento necessario ao desempenho da suaf inalidade. Possue um ótimos serviço de informações, onde os estrangeiros recebem detalhadamente asinstruções para o processo de legalização de permanecia é até de naturalização. Esse serviço não só evita que os estrangeiros de boa fé sejam iludidos por conhecidos espertalhões, como tambem favorece aos mesmos, conhecimentos positivos sobre tudo que se relacion com a regislação. O serviço divide-se em seis secões e já atendeu a 115.561 estrangeiros durante o ano passado, sendo que até o presente momento, 88.109 homens e 26.361 mulheres já procuraram a repartição afim de se egarizarem, restando ainda numerosos outros que não atenderam aos editaes de apresentação de acôrdo com o decreto recentemente publicado.

A RAPIDEZ NOS PROCESSOS

Proseguindo em suas declarações, o sr. Ociola Martinelli assim falou:

Todos os estrangeiros desembarcados nesta capital, embora quando se destinem ao interior, devem procurar o Serviço dentro de trinta dias improrogaveis, afim de proceder ao registo. Os que se destinam ao interior obedecem a processos simples e rapidos.

Falou em seguida sobre a eficiencia do serviço, dizendo: Ha tempos, alguns clubes de futebol, foram aotuados porque não estavam com o registo de seus profissionaes estrangeiros em dia. O São Christovão, o Flamengo, o Bomsuccesso, tiveram assim que pagar as multas correspondentes, independente do processo a que foram submetidos na Justiça.

Terminando as suas declarações, o sr. Ociola Martinelli, depois de focalizar o exito que terá o Serviço com o funcionamento da Delegacia de Estrangeiros sob a direção do dr. Ives Araujo, disse que nas estatisticas de estrangeiros, os portuguezes figuram em primeiro lugar, com um total, superior a 77 mil registos, seguindo-se os italianos os allemães, os japonezes e outros.

Um trimestre de commercio exterior

Contrariamente á expectativa reinante, o commercio internacional do Brasil, no começo de 1941 está apresentando signaes e indices de melhoria, pelo menos no que diz respeito á nossa exportação para o estrangeiro.

E' facto do conhecimento publico que, em virtude sobretudo da guerra européa, tanto o nosso movimento de compras como o de vendas assignalou recuo consideravel em 1940. O Brasil, que, no quinquenio annterior, estava ampliando cada vez mais em quantidade as suas remessas de productos e de mercadorias para o exterior, bem como avolumando as suas acquisições, no anno passado registou o primeiro recuo nesse intercambio internacional. Nem poderia, aliás, ser de outra maneira, quando se considera que não estavamos como não estamos, preparados para imprimir ao nosso commercio com os Estados Unidos, o Japão, a Africa, a America Latina, uma amplitude tal que compense as perdas decorrentes do collapso dos centros de consumo da Europa.

O que se esperava, pois, no anno commercial em andamento, era que o estado de coisas dominante em 1940 se perpetuasse em 1941. Exprimindo-nos em outras palavras, poderiamos asseverar que a prespetiva que se nos desenhava nos primordios deste annno, estava longe de ser-nos auspiciosa.

As informações, no em tanto agora prestadas pelo Serviço de Estatistica Economica e Financeira do Minnisterio da Fazenda são de molde a demonstrar-nos que estamos exportando mais em 1941 de que em 1940. No trimestre inicial do exercicio em curso, a nossa corrente exportadora foi mais volumosa e accusou mesmo maior rendimento em contos do que a do periodo correspondente do anno que veiu de expirar. Os algarismos abaixo evidenciam a verdade dessa nossa asserção.

Exportação do Brasil
(Janeiro a março)

	Toneladas	Contos
1940	728.406	1.304.133
1941	794.637	1.360.295

A exportação nacional distribuiu-se desta maneira, segundo as classes, em ambos os periodos:

	1940	1941
	Contos	
Materias primas	486.433	575.684
Generos alimenticios	789.601	754.947
Manufacturas	28.043	29.646

Portanto: major valor na exportação de materias primas e de manufacturas em 1941. Menor rendimento, porém, quanto aos generos alimenticios.

Enquanto a exportação, de janeiro a março, accusou esses symptomas de rejuvenecimento, limitado embora, a importação declinou como se deduz desta relação:

Importação do Brasil
(Janeiro a março)

	Toneladas	Contos
1940	1.129.731	1.447.53
1941	894.887	1.147.5

A physionamia importadora da nação recompóz-se, por outro lado desta forma:

	1940	1941
	Contos	
Materias primas	489.185	327.249
Generos alimenticios	195.335	145.708
Manufacturas	716.939	656.662

Donde: quéda em todas as classes.

Certamente, não nos é licito adeantar conclusões e formular antecipações tratando-se de nosso commercio internacional em um trimestre apenas. O que todavia, consignam as estatisticas da União é que se operou ligeira reacção saluta, em nosso rythmo exportador, coincidindo com o retrocesso, em nossas acquisições externas.

Ferro gusa do Brasil para o Japão

Procedente de Kobe, tendo feito a viagem pelo Oceano Pacifico, via Estreito de Magalhões, Buenos Aires, Montevidéu e Santos, encontra-se em nosso porto o navio misto Japonês «Toa Marú».

O «Toa Marú» está atracado no prolongamento do Cais do Porto, recebendo valioso e vultoso carregamento de ferro guza procedente de Minas Geraes, producto brasileiro que, ultimamente vem tendo grande aceitação no mercado internacional e especialmente no Japão, que se tornou um de seus maiores consumidores.

A propaganda anglófila

O governo japonês, tendo descoberto que as chamadas sociedades culturais, que a Ingraterra mantem nos paizes estrangeiros não passam de disfarce visando, antes de mais nada, a espionagem e a infiltração nos meios influentes, para assim, melhor proteger os interesses econômicos e politicos ingleses, no exterior, fechou, compulsoriamente as referidas sociedades existentes no Japão. E os Japonezes foram mais longe: deportaram as figuras de maior destaque que as dirigiam. A medida tomada pelo governo japonês apoiou-se em factos tão evidentes que o governo inglês não se deu por achado. Ao que se supõe, essas sociedades obedecem a um sistema unico de propaganda e espionagem, com a colaboração ingênua ou calculada de pessoas influentes, naturais dos paizes espionados.

Um valor! Uma oportunidade!
Um excelente negocio!
Na Colonia Nipponica!
"ANNUNCIOS"
Sirva-se dos
do
"NOTICIAS DO BRASIL"
Rua Fagundes, 196 - Phone 7 4670
Caixa Postal, H. S. Paulo

LEIA O NOSSO
KODOMO NO SONO
Supplemento do jornal "Noticias do Brasil"

AOS NOSSOS ANUNCIANTES E EMPRESAS DE PUBLICIDADE

SERVIÇO DE CENSURA DE PUBLICIDADE SANITARIA

CENSURA PRÉVIA DE ANÚNCIOS

De acordo com as instruções recebidas do dr. Lourival Fontes, diretor do Dip, e postas em vigor pelo dr. Cassiano Ricardo, diretor Geral do Departamento Estadual de Imprensa e Propaganda, ficam, até ulterior deliberação, os jornais, revistas, estações de rádio e demais empresas de publicidade autorizadas a aceitar e publicar, independentemente de censura prévia, os anúncios e outras publicações referentes a produtos farmacêuticos e artigos cuja publicidade é controlada pelas autoridades sanitárias.

Outros esclarecimentos a respeito podem ser obtidos na séde do Serviço de Censura de Publicidade Sanitária, á rua Xavier de Toledo' no 70 — 7º andar — Sala 712.

經濟欄

珈琲

珈琲市場は引き續き低迷中に推移し大した變動は見受けず各銘共にどうやら完全に頭打ち狀況であつた

先づ四月中旬モレは廿六ミル釘づけ、同ゾーロ銘は上値神では四ミル三と之も釘づけから手の腰强く賣手を引づつて下押氣分の方が濃厚な面であるが、稍強氣を呈した場は五銘リオ昧物に見受けられた、十九ミル丁度相場から急騰して十九ミル七を上り週末には十九ミル五百と下押す相場師が面白がつてゐる

但し昨今の珈琲市場は米國側買と伯國政府による買の極まる市場戰の爲、相場師が活躍し得る餘地は日毎に狹隘化、此方面で資本を動かして居る人達は今後は相當出現するのではあるまいか

棉花

先週の棉花相場は荒相場であつた、中値四一ミル見當から始まり、グン〳〵引落し、週末土曜日には買申値三八・半に迄下値を追ふ

棉花會議召集

生產諸州代表上府

リオ發十日電報によれば、大藏大臣は現下の國際情勢に鑑み棉花の動向に對處すべくパライーバ、ペルナンブーコ、セアラー、北大河、聖州各州知事に對し、棉花生產關係の主要人士をリオへ派遣方を要請した、會議は本月十六日から開催されてゐるが、同會議には恐らく先般の米綿問題ダンタス氏も列席し伯國棉花の將來を決定すべき重大會議が行はれるものゝ如くである

棉實皮

棉種の皮は大部分燃料として製油工場では嫌棄し、その灰を肥料に使ふ位しか從來は用途が無かつた處、今般北米の一技師が之れに化學的操作を加へ立派な新資源化することに成功した

即ち石炭酸、フルフラール及此が混合物に化學反應を起させ可塑物とすると極めて輕く樣々な用途に安價に利用出來ることになつた、コジニヤ用品、洗面器、化粧品小道具電氣機械等々を試作中である由

新資源雜報

アカシア・ネグラ

聖州でもボツ〳〵始めてゐる人もあるタンニン材用樹、蔴地は南アフリカの半砂漠氣候條件の最も似た用大河では申分無く生育し獨逸人が盛んに植えてゐる、既に一千万本の挿きに達し充分工業化する域に達し、五百コントスの資本金で一會社が出來た中心地域は聖レオポルド郡であり、アルゼンチン、ケブラチオ輸入に過ち目醒の間にあり、進んで輸出にもと意氣込んでゐる

日本棉業の底力

俄然活潑に活動開始

【大阪發】三品清算及び一般輸出現物は二月初旬印の繰綿相場を眺めかたく先行眼棉手當を緩めさせる勢を生じ輸出商人は相場を進めるを動機として俄然買進みを動機として俄然買を強じたが、その後も同市場をはじめ英印近東、中米、北歐方面からの買氣がます〳〵旺盛を極め、また今輸佛印との講和成立によつて早くもタイ國からも各品にわたり引合があるなど、輸出商人の所謂を眺めかたく先行眼棉手當を緩めさせる勢を生じ輸出商人は相場を進める